

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	啓発振興係
担当者	岩城 光太			25-5018	内線	2212

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	①Ⅰ. 人権啓発活動の充実①	
②事業No. 事業名	Ⅰ. 人権啓発作品募集及び展示等活用			事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	0%	府補助率	一部10/10 (項目⑦に記載)
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

人権に関するポスター・作文・メッセージの制作と作品の展示活用等を通じて、児童・生徒・市民の人権意識を高めることを目的に、人権啓発作品の募集を行っています。

6月～7月にかけて作品募集を行い、9月の審査会を経て、入賞作品については11月に開催するヒューマンフェスタで展示します。また、優秀作品を掲載したカレンダー・ポスター等を作成し、市内公共施設、学校、亀岡市人権啓発推進協議会加入団体等に配布しています。

※人権啓発カレンダーについては人権啓発活動再委託事業（府10/10補助）

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	324,000	年1回
	実績	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	415,690	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	289,000	年1回
	実績	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	300,300	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	367,000	年1回
	実績	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	343,200	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用	473,000	年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	人権啓発作品（ポスター・作品・メッセージ）の募集及び活用		
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

ポスター等の制作を通じて、児童・生徒・一般市民の基本的な人権に対する理解を深め、人権尊重の精神を養うとともに、優秀作品を啓発事業（カレンダー作成など）に活用することで、広く市民への人権問題への理解を深めてもらうことから、事業実績を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		（成果）指標値
期間を通じた目標	人権啓発作品の応募数（ポスター・作文・メッセージの合計）	500点以上
R3	実績	人権啓発作品の応募数（ポスター・作文・メッセージの合計） 497点
R4	実績	人権啓発作品の応募数（ポスター・作文・メッセージの合計） 453点
R5	実績	人権啓発作品の応募数（ポスター・作文・メッセージの合計） 473点
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	多くの児童・生徒・市民に継続的に事業に参加いただくことで、市民一人ひとりの人権意識を高めてもらうことから、作品応募数を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)市の広報紙やホームページを活用し、広く周知を行っている。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	啓発振興係
担当者	①岩城 光太 ②仲 智子		直通	25-5018	内線	2213

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	①Ⅰ. 人権啓発活動の充実②	
②事業No. 事業名	2. ①ヒューマンシネマ、②ヒューマンフェスタ			事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	0%	府補助率	①100% ②50%
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

- ①平和月間(亀岡市)で人権強調月間(京都府)でもある8月に、映画を通して平和と人権を考える機会としてヒューマンシネマを実施しています。
 ②人権週間(12月4日～10日)を前に、親子そろって楽しめ、人権について考えるきっかけとなるイベントとして、11月にヒューマンフェスタを開催しています。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	ヒューマンシネマ、フェスタの開催	1,792,000	ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
	実績	ヒューマンシネマは新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止 ヒューマンフェスタの開催	612,573	ヒューマンシネマ 中止 ヒューマンフェスタ 年1回
		達成度		50 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		10 %
R4	計画	ヒューマンシネマ、フェスタの開催	1,741,000	ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
	実績	ヒューマンシネマ、フェスタの開催	1,554,627	ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		30 %
R5	計画	ヒューマンシネマ、フェスタの開催	1,986,000	ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
	実績	ヒューマンシネマ、フェスタの開催	1,978,860	ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		50 %
R6	計画	ヒューマンシネマ、フェスタの開催	2,020,000	ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	ヒューマンシネマ、フェスタの開催		ヒューマンシネマ 年1回 ヒューマンフェスタ 年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

人権について考える機会としてイベントを開催することから、各イベントの開催実績を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①ヒューマンシネマ参加人数/アンケート肯定評価の割合 ②ヒューマンフェスタ参加人数/アンケート肯定評価の割合	①300人／80%以上 ②2000人／80%以上
R3	実績	①ヒューマンシネマ参加人数/アンケート肯定評価の割合 ②ヒューマンフェスタ参加人数/アンケート肯定評価の割合	①令和3年度はヒューマンシネマは中止 ②約1,100人/87%以上
R4	実績	①ヒューマンシネマ参加人数/アンケート肯定評価の割合 ②ヒューマンフェスタ参加人数/アンケート肯定評価の割合	①約140人／85.1% ②約1,100人／86.3%
R5	実績	①ヒューマンシネマ参加人数/アンケート肯定評価の割合 ②ヒューマンフェスタ参加人数/アンケート肯定評価の割合	①約480人／90.8% ②約1,200人／92%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	ヒューマンシネマ・ヒューマンフェスタへの参加者人数と、来場者へアンケート調査を実施し、その結果を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	啓発振興係
担当者	稲葉 航平			25-5018	内線	2213

①整理番号	章	I	節	I	具体的施策No. 施策名	①I. 人権啓発活動の充実③	
②事業No.事業名	3 亀岡市人権尊重推進条例に関する事業の推進			事業実施 期 間	R4	～	R7
③新規・継続	新規	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

全ての人の人権が尊重される社会の実現に向け、令和6年4月1日に「亀岡市人権尊重推進条例」を施行した。令和6年度から、亀岡市人権尊重推進審議会を設置し、市長の諮問に応じて、同条例第7条に規定する基本計画の策定及び進捗管理等に関する調査審議を行う。							
--	--	--	--	--	--	--	--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R4	計画	①亀岡市人権条例(仮称)制定検討委員会の開催(年4回) ②人権行政推進本部会議(年2回)	388,000	①年4回 ②年2回
	実績	①亀岡市人権条例(仮称)制定検討委員会の開催(年4回) ②人権行政推進本部会議(年1回)	349,200	①年4回 ②年1回
		達成度		75 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		18.8 %
R5	計画	①亀岡市人権条例(仮称)制定検討委員会の開催(年2回) ②人権行政推進本部会議(年2回) ③亀岡市人権条例(仮称)制定審議会の開催(年5回)	921,500	①年2回 ②年2回 ③年5回
	実績	①亀岡市人権条例(仮称)制定検討委員会の開催(年2回) ②人権行政推進本部会議(年2回) ③亀岡市人権条例(仮称)制定審議会の開催(年4回)	533,500	①年2回 ②年2回 ③年4回
		達成度		93 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		42.1 %
R6	計画	①亀岡市人権尊重推進審議会の開催(年5回) ②人権行政推進本部会議(年1回)	485,000	①年5回 ②年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①亀岡市人権尊重推進審議会の開催(年5回) ②人権行政推進本部会議(年1回)		①年5回 ②年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	条例策定に向けた外部委員会を設置することから、4回開催する委員会の開催実績、また人権行政推進本部会議の開催実績を活動指標とする。なお、条例制定後は審議会を年1回開催予定であり、審議会開催実績を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		ヒューマンフェスタ来場者アンケートによる「亀岡市の人権施策に関する取組：大変充実している、充実している」の割合	80%以上
R3	実績		
R4	実績	ヒューマンフェスタ来場者アンケートによる「亀岡市の人権施策に関する取組：とても満足している、満足している」の割合	84.2%
R5	実績	ヒューマンフェスタ来場者アンケートによる「亀岡市の人権施策に関する取組：とても満足している、満足している」の割合	87.2%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当事業及び取組の目的が達成されるためには、市民の人権意識をさらに高めていくことが必要となる。その成果指標の設定は難しい部分があるが、毎年開催している「ヒューマンフェスタ」において、来場者に亀岡市の人権施策の取組についてアンケート調査を実施し、その結果を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	啓発振興係
担当者	稲葉 航平			25-5018	内線	2213

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	①2. 市民活動の支援		
②事業No.事業名	4. 亀岡市人権啓発推進協議会活動助成				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	継続		④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率 -
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

広く人権教育・啓発活動を推進し、市民一人ひとりの人権意識を高める活動を市内全域で行っている団体である「亀岡市人権啓発推進協議会」に対し助成を行います。

○主な取組内容

- ◆市内の人権(同和)教育推進協議会(7団体)の人権啓発活動への助成【年1回】
- ◆各団体が実施する人権研修会への講師(人権教育啓発指導員)の派遣【随時】
- ◆講師(人権教育啓発指導員)及び市人権担当職員の育成研修の機会提供【随時】(人権大学講座など)
- ◆人権啓発推進協議会加入団体(62団体)への情報提供【随時】(人権研修の案内など)

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	研修会等への講師派遣	1,250,000	年 50回
	実績	研修会等への講師派遣	1,179,660	年 19回
		達成度		38 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		7.6 %
R4	計画	研修会等への講師派遣	1,200,000	年 50回
	実績	研修会等への講師派遣	1,200,000	年 27回
		達成度		54 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		18.4 %
R5	計画	研修会等への講師派遣	1,200,000	年 50回
	実績	研修会等への講師派遣	1,200,000	年 37回
		達成度		74 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40.8 %
R6	計画	研修会等への講師派遣	1,200,000	年 50回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	研修会等への講師派遣		年 50回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

亀岡市人権啓発推進協議会の主な活動のうち、研修会等への講師派遣実績を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		人権研修受講者アンケートで研修後の認識が「深まった」以上の評価割合	80%以上
R3	実績	人権研修受講者アンケートで研修後の認識が「深まった」以上の評価割合	94.8%
R4	実績	人権研修受講者アンケートで研修後の認識が「深まった」以上の評価割合	84.6%
R5	実績	人権研修受講者アンケートで研修後の認識が「深まった」以上の評価割合	85.1%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	一人ひとりの人権意識を高める活動の指標として、人権研修受講者アンケートで研修後の認識が「深まった」以上の評価割合を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	啓発振興係
担当者	小寺 美優		直通	25-5018	内線	2213

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	13. 地域における人権・コミュニティ活動の推進		
②事業No.事業名	5.文化センター・児童館設置地域における事業の実施				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	補助		国補助率	2/3	府補助率	1/2
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 持続可能な開発目標	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 包摂的かつ持続可能な都市づくり	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

市内各文化センター、児童館において、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、同和教育をはじめとする人権課題の解決のための啓発事業を行います。

【地域交流活性化支援事業（府補助事業）】

- ・地域交流事業（手芸・園芸教室、自然環境学習など）
- ・地域力活用事業（人権福祉フェスティバル、いきいき夏まつりなど）
- ・課題対応支援事業（高齢者いきいき講座、子ども広場など）

【人権問題啓発事業（府補助事業）】人権学習会、人権啓発講座など

【隣保館運営事業（国補助事業）】交流促進講座開発事業、隣保館デイサービスなど

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	9,039,000	各種事業の実施回数 年650回
	実績	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	6,838,296	年578回
		達成度		89 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		18 %
R4	計画	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	8,696,000	各種事業の実施回数 年650回
	実績	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	7,459,545	年785回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		38 %
R5	計画	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	8,752,000	各種事業の実施回数 年650回
	実績	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	8,052,178	年778回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		58 %
R6	計画	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施	8,736,000	各種事業の実施回数 年650回
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	補助事業を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施		
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方 補助事業等を活用し、地域特性を活かした福祉の向上、人権啓発、住民交流を図る事業を実施することから、各種事業の実施実績を成果指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		市内文化センター・児童館の年間利用者数	60,000人
R3	実績	市内文化センター・児童館の年間利用者数	29,445人
R4	実績	市内文化センター・児童館の年間利用者数	42,006人
R5	実績	市内文化センター・児童館の年間利用者数	52,682人
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	文化センター・児童館を地域住民の自主的な地域力の育成・活用、住民同士の交流の拠点とするためには、より多くの人に利用してもらうことが必要であることから、利用者数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	啓発振興係
担当者	岩城 光太			25-5018	内線	2212

①整理番号	章	I	節	I	具体的施策No. 施策名	①4. 人権侵害の救済と擁護の推進	
②事業No.事業名	6. 人権擁護施策推進・要求亀岡市実行委員会活動助成			事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

国に対し、すべての人権問題を解決するための総合的な施策を講じることを求め、広範な力を結集し、市民的な運動としての諸活動を展開することを目的とする団体である「人権擁護施策推進・要求亀岡市実行委員会」に対して助成を行います。

○主な取組内容

◆亀岡市実行委員会幹事会の開催 ◆京都府実行委員会幹事会への出席、同委員会大会・集会・講座への参加、同委員会ニュース「ひゅーまんらいと」の頒布 ◆部落解放・人権政策確立要求中央集会への参加及び国会議員への要請行動（中央実行委員会との連携）

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成	500,000	負担金支払い500,000円
	実績	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成(人権擁護施策推進・要求亀岡市実行委員会)	332,078	負担金支払い332,078円
		達成度		66 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		13.2 %
R4	計画	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成	500,000	負担金支払い500,000円
	実績	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成(人権擁護施策推進・要求亀岡市実行委員会)	500,000	負担金支払い500,000円
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		33.2 %
R5	計画	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成	1,075,000	負担金支払い1,075,000円
	実績	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成(人権擁護施策推進・要求亀岡市実行委員会)	1,075,000	負担金支払い1,075,000円
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		53.2 %
R6	計画	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成	500,000	負担金支払い500,000円
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	国に対する人権侵害被害者救済に向けた実効性のある法整備の要請活動に対する助成		
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	亀岡市実行委員会における国への要請活動や人権集会への参加など、広範な力を結集し、すべての人権問題解決のための諸活動への助成を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		国に対し、すべての人権問題を解決するための総合的な施策を講じることを求め、広範な力を集結し、市民的な運動としての諸活動を展開する。 ・中央実行委員会と連携し国へ法整備を要請 ・京都府実行委員会大会等参加による市民的運動への意識・気運の上昇	開催される要請活動や人権集会など人権啓発事業への参加
R3	実績	・中央実行委員会と連携し国へ法整備を要請 ・京都府実行委員会大会等参加による市民的運動への意識・気運の上昇	参加要請のあった事業 17事業 参加実績 17事業
R4	実績	・中央実行委員会と連携し国へ法整備を要請 ・京都府実行委員会大会等参加による市民的運動への意識・気運の上昇	参加要請のあった事業 19事業 参加実績 19事業
R5	実績	・中央実行委員会と連携し国へ法整備を要請 ・京都府実行委員会大会等参加による市民的運動への意識・気運の上昇	参加要請のあった事業 22事業 参加実績 21事業
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	要請のあった啓発事業に参加することで、各関係機関（団体）とも連携した啓発事業の展開を図ることができることから、参加実績を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)中央実行委員会・京都府実行委員会との連携による実効性のある要請・集会参加を行うとともに、市民的運動への気運上昇に繋がる諸活動を展開するよう指導しました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	岡田 美里		直通	25-5054	内線	3752

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	②5. 学習機会の提供①	
②事業No.事業名	7. 人権教育事業				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	-	府補助率	50%
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを保とう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

豊かな人権感覚を育み、差別のない「人権尊重」のまちづくりを推進するため、人権教育講座等の学習機会を市民に提供する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	人権教育講座等の開催	2,436,000	年11回開催
	実績	人権教育講座等の開催	2,343,060	年9回開催
		達成度		82 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		16 %
R4	計画	人権教育講座等の開催	2,437,000	年11回開催
	実績	人権教育講座等の開催	1,689,066	年9回開催
		達成度		82 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		32 %
R5	計画	人権教育講座等の開催	2,437,000	年11回開催
	実績	人権教育講座等の開催	2,059,836	年11回開催
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		52 %
R6	計画	人権教育講座等の開催		年11回開催
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	人権教育講座等の開催		年11回開催
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	毎年度、人権教育講座5回、人権教育指導者研修会3回、人権セミナー2回、女性集会1回の開催実績を定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		（成果）指標値
期間を通じた目標	人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	70%
R3	実績 人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	75.4%
R4	実績 人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	78.2%
R5	実績 人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	78.9%
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	人権が尊重され、差別や偏見のない社会を作るためには、人権尊重の理念が日常生活の中で態度や行動に現れることが大切であるため、受講者のアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 女性集会ではZoomによるオンライン参加と会場参加を併用し、より多くの人に参加機会を提供した。 (R5) コロナが5類に移行後も、コロナ禍と同様に毎講座案内を送付し、参加申込制を続けた結果、コロナ禍より参加者数が大幅に増加した。様々な人権課題がある中で、社会情勢を捉えたタイムリーで幅広い課題の学習機会を提供を行った。
進行上の課題や問題点	(R3) コロナ禍の中、安全・安心に講座等の運営をしていくために、感染状況によっては、人数制限等を図る場合もあり、当面コロナの感染状況も予測できないことから、参加人数を成果指標から削除した。 引き続き、オンラインも含めた開催方法を検討していく。 (R4・R5) これまでから人権問題の解決に向け、さまざまな取り組みが推進されてきたが、今なお、部落差別、虐待やいじめ、インターネットによる人権侵害等が存在している。また、社会情勢の変化とともに、人権課題は多様化・複雑化し、その実態、原因について正しく把握・理解するとともに、あらゆる機会を通して人権尊重についての理解と認識を深め、自他の人権を守る実践的な態度が培われるよう人権教育を推進していく必要がある。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者	岡田 美里		直通	25-5054	内線	3752

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	②5. 学習機会の提供②	
②事業No.事業名	8. 人権教育啓発指導員派遣事業				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを保とう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

市民等の人権意識の高揚を図るため、地域や企業、各種団体などが自主的な人権教育啓発活動を行う場合に、人権教育啓発指導員の派遣及び情報提供を行う。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	人権教育啓発指導員の派遣	-	随時派遣
	実績	人権教育啓発指導員の派遣	-	19回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	人権教育啓発指導員の派遣		随時派遣
	実績	人権教育啓発指導員の派遣		27回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	人権教育啓発指導員の派遣		随時派遣
	実績	人権教育啓発指導員の派遣		37回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	人権教育啓発指導員の派遣		随時派遣
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	人権教育啓発指導員の派遣		随時派遣
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	地域や企業、各種団体などが自主的な人権教育啓発活動を行う際、人権教育啓発指導員を随時派遣し、その実績を定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		（成果）指標値
期間を通じた目標	人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	70%
R3	実績 アンケート項目の見直しを行ったため、R4より実績の評価を開始	—
R4	実績 人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	76.1%
R5	実績 人権研修会の受講者アンケートにより、今後人権問題の解決に向けて「踏み出している」「踏み出したい」「踏み出せそう」と答えた人の割合	70.2%
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	人権が尊重され、差別や偏見のない社会を作るためには、人権尊重の理念が日常生活の中で態度や行動に現れることが大切であるため、受講者のアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	研修を希望される地域や企業、各種団体などのニーズを聴き取り、人権課題・研修テーマ・研修形態に合わせて人権教育啓発指導員を派遣したり、情報提供を行うことにより、人権意識の普及高揚を図った。
進行上の課題や問題点	(R3)令和4年度から受講者アンケートの項目を修正し、成果指標に設定した割合を定量的に算出できるようにする。 (R4・R5)参加者の気づきと自分の問題として考える主体的な姿勢を引き出し、日常の行動に具現化することをめざして、参加者のニーズを把握し、一人ひとりが学べるテーマで内容を組み立てる。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	秘書課	係	秘書係
担当者		池永 菜穂子	直通	25-5001	内線	2913

①整理番号	章	Ⅰ	節	Ⅰ	具体的施策No. 施策名	③6. 平和意識の啓発		
②事業No.事業名	9. 平和推進事業				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	○	2 気候変動に 適応する	○	3 すべての人に 健康と福祉を	○	4 質の高い教育を みんなに	○	5 ジェンダー平等を 実現しよう	○	6 安全な水とトイレ を世界中に		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに		8 働きがいも 経済成長も		9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	
10 人や国の不平等を なくそう	○	11 住み続けられる まちづくりを		12 つくる責任 つかう責任		13 気候変動に 適応的な対策を		14 海の豊かさ を守ろう		15 陸の豊かさも 守ろう		16 平和と公正を すべての人に	○	17 パートナリープで 目標を達成しよう	○		

⑦事業の概要及び目的

昭和30年の市制施行と同時に世界連邦平和都市を宣言した本市は、平成22年に「核兵器廃絶」の趣旨を込めた「世界連邦・非核平和都市」を新たに宣言しました。SDGs 17のゴール「平和と公正をすべての人に」の達成と世界恒久平和の実現に向け、8月の「平和月間」に平和祈念式典などの平和事業を実施するとともに、平和のコスモス園事業など市民による平和活動の取組を促進し、想いを広く発信していきます。	
---	--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①宣言文看板・懸垂幕の掲出、広報かめおかへの記事掲載 ②市民参画・活動による平和事業の取組の推進	1,364,000	①掲出・掲載 ②年2事業
	実績	①宣言文看板・懸垂幕の掲出・広報かめおかへの記事掲載 ②平和祈念式典・平和の旅事前学習会等の開催	418,114	①掲出・掲載 ②年2事業
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①宣言文看板・懸垂幕の掲出、広報かめおかへの記事掲載 ②市民参画・活動による平和事業の取組の推進	1,364,000	①掲出・掲載 ②年2事業
	実績	①宣言文看板・懸垂幕の掲出・広報かめおかへの記事掲載 ②平和祈念式典・「原爆と人間展」等の開催	465,778	①掲出・掲載 ②年2事業
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	①宣言文看板・懸垂幕の掲出、広報かめおかへの記事掲載 ②市民参画・活動による平和事業の取組の推進	4,525,000	①掲出・掲載 ②年2事業
	実績	①宣言文看板・懸垂幕の掲出・広報かめおかへの記事掲載 ②平和祈念式典・平和資料展・中東和平プロジェクト・志教育プロジェクト等の開催	8,568,964	①掲出・掲載 ②年4事業
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	①宣言文看板・懸垂幕の掲出、広報かめおかへの記事掲載 ②市民参画・活動による平和事業の取組の推進	528,000	①掲出・掲載 ②年2事業
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①宣言文看板・懸垂幕の掲出、広報かめおかへの記事掲載 ②市民参画・活動による平和事業の取組の推進		①掲出・掲載 ②年2事業
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	宣言文看板・懸垂幕の掲出と広報かめおかへの記事掲載実績、8月の「平和月間」などに行う平和事業や市民による平和活動の取組の開催実績を定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		各種平和推進事業に参加した人数	2,800人以上
R3	実績	平和祈念式典・平和の旅事前学習会・平和のコスモス園事業・戦争平和展等、各種平和推進事業に参加した人数	2,018人
R4	実績	平和祈念式典・原爆と人間展・平和のコスモス園事業・戦争平和展等、各種平和推進事業に参加した人数	2,488人
R5	実績	平和祈念式典・平和資料展・中東和平プロジェクト・志教育プロジェクト・平和のコスモス園事業・戦争平和展等、各種平和推進事業に参加した人数	3,116人
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	平和意識の啓発のためには、より多くの人に平和に関する情報に接していただく必要があるため、各種平和推進事業に参加した人数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	上原 典子		直通	25-5075	内線	2214

①整理番号	章	1	節	2	具体的施策No. 施策名	□7.男女共同参画の意識啓発			
②事業No.事業名		10.ゆうあいフォーラム等啓発事業・情報紙「ゆう・あいネット」の発行				事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続		継続	④事業区分		補助	国補助率	-	府補助率	1/2
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくばない、つかう、減らす	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

社会制度の見直しや固定的性別役割分担意識の解消など、市民の意識改革に向けた啓発のため、亀岡市男女共同参画計画「ゆう・あいプラン2021」の基本目標に掲げる「市民と行政の協働による男女共同参画の推進」に基づき、市民と行政が協働で企画・運営を行う男女共同参画推進事業「ゆう・あいフォーラム」の開催、男女共同参画に関する情報紙「ゆう・あいネット」の発行を行っている。また、毎年6月23日から29日の男女共同参画週間と11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動期間」に庁舎での展示や街頭啓発等の啓発活動を実施している。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	1,226,000	①年1回②年2回 ③年各1回
	実績	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	791,350	①年1回②年2回 ③年各1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	1,320,000	①年1回②年2回 ③年各1回
	実績	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	1,156,669	①年1回②年2回 ③年各1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	1,378,000	①年1回②年2回 ③年各1回
	実績	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	1,338,660	①年1回②年2回 ③年各1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施	1,627,000	①年1回②年2回 ③年各1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①ゆう・あいフォーラムの開催②情報紙「ゆう・あいネット」の発行 ③男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間に係る啓発活動の実施		①年1回②年2回 ③年各1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	男女共同参画について考える機会として啓発活動（イベント・紙面の発行等）を実施することから、活動実績を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		（成果）指標値
期間を通じた目標	①「ゆう・あいフォーラム」への来場者数 ②「男は仕事、女は家庭のことを主に担う」という考え方に同感しない市民の割合	①1,000人以上 ②60%
R3	実績 ①「ゆう・あいフォーラム」への来場者数 ②「男は仕事、女は家庭のことを主に担う」という考え方に同感しない市民の割合	①約1,100人 ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R4	実績 ①「ゆう・あいフォーラム」への来場者数 ②「男は仕事、女は家庭のことを主に担う」という考え方に同感しない市民の割合	①約1,100人 ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R5	実績 ①「ゆう・あいフォーラム」への来場者数 ②「男は仕事、女は家庭のことを主に担う」という考え方に同感しない市民の割合	①約1,200人 ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	取組の目的が達成されるためには、より多くの人が「男女共同参画」を知る機会をつくる必要がある。また、各啓発活動を実施することによる効果を量ることが重要であることから、イベントへの来場者数及び市民意識調査結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	上原 典子			25-5075	内線	2214

①整理番号	章	1	節	2	具体的施策No. 施策名	①8.政策・方針決定過程への女性の参画の促進①			
②事業No.事業名	11.KYISS・女性人材登録事業・審議会等への女性の登用 推進事業				事業実施 期 間	R3 ~ R7			
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	一	府補助率	一	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

「審議会等への女性の登用推進方策」に基づき、審議会等の委員選任時に女性の登用に係る事前協議書の提出を義務づけ、人権啓発課長の意見を付すことで意識づけを行うとともに、主管課からの女性人材推薦依頼に対しては女性人材登録者を紹介している。社会のあらゆる分野における政策・方針決定の場への女性の参画を促進するため、女性人材登録者を増やし、亀岡市男女共同参画計画「ゆう・あいプラン2021」強化取組事項の「市の政策・方針決定の場への女性の参画の促進」の指標である審議会等の女性委員比率50%を目指す。

また、男女共同参画の視点をもって活動している団体については、亀岡ゆう・あいサポートシステム(KYISS)に登録し、活動情報を広く市民に提供することで、市民活動の輪を広げる支援を行う。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	女性人材登録人数	—	30人
	実績	女性人材登録人数	—	25人
		達成度		83.3 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		16.7 %
R4	計画	女性人材登録人数	—	30人
	実績	女性人材登録人数	—	24人
		達成度		80 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		32.7 %
R5	計画	女性人材登録人数	—	30人
	実績	女性人材登録人数	—	22人
		達成度		73.3 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		47.3 %
R6	計画	女性人材登録人数		30人
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	女性人材登録人数		30人
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	女性人材登録を活用し、審議会等の女性委員比率50%を目指すため、女性人材登録人数を活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		審議会等の女性委員の比率	50%
R3	実績	審議会等の女性委員の比率	34%
R4	実績	審議会等の女性委員の比率	34.5%
R5	実績	審議会等の女性委員の比率	34.1%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	社会のあらゆる分野における政策・方針決定の場への女性の参画を促進するため、「市の政策・方針決定の場への女性の参画の促進」の指標である審議会等の女性委員比率を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	竹嶋 宣輝			25-5075	内線	2214

①整理番号	章	I	節	2	具体的施策No. 施策名	□18.政策・方針決定過程への女性の参画の促進②		
②事業No.事業名	12.ゆう・あいプラン2021実施計画の進行管理				事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	新規	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

男女共同参画社会の実現に向け、亀岡市男女共同参画計画である「ゆう・あいプラン2021」（計画期間：令和3年度～令和12年度）を策定し、そのうち令和3年度からは前期5年の成果の検証を行い、年度ごとに各施策・事業の進行管理を行う。	
毎年の進捗状況の点検・評価結果については男女共同参画推進本部会議にフィードバックし、必要に応じて男女共同参画審議会の意見を聴くこととしている。	

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	実施状況の点検評価	—	年1回
	実績	実施状況の点検評価	—	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	実施状況の点検評価	—	年1回
	実績	実施状況の点検評価	—	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	実施状況の点検評価	—	年1回
	実績	実施状況の点検評価	—	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	実施状況の点検評価	—	年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	実施状況の点検評価	—	年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	毎年の各施策や事業の進捗状況を点検し、評価することで、男女共同参画社会の実現を目指すことから、その実績を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		実施状況の点検評価 達成率A評価	90%以上
R3	実績	実施状況の点検評価 達成率A評価	74.1%
R4	実績	実施状況の点検評価 達成率A評価	86.8%
R5	実績	実施状況の点検評価 達成率A評価	91.6%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	男女共同参画施策の推進をより効果的に実施し、男女共同参画計画の実効性を確保するため、実施状況の点検評価A評価達成率を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調査

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	竹嶋 宣輝		直通	25-5075	内線	2214

①整理番号	章	1	節	2	具体的施策No. 施策名	②9. 多種多様な人々に関する意識啓発 ②10. パートナーシップ宣誓制度による支援		
②事業No.事業名	13. LGBTQ+啓発事業				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	新規	④事業区分	補助	国補助率	-	府補助率	1/2	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)		パートナーシップ宣誓制度等の都市間連携都市である京都市、長岡京市、向日市、福知山市とLGBTQ+啓発事業(京都まあるスペース)の共催、広報協力(ホームページ掲載)など、事業協力をしている。						

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

どのような性的指向や性自認、性表現であるかに関わらず、すべての人の人権が尊重されるまちづくりを目指すため、亀岡市男女共同参画計画「ゆう・あいプラン2021」の基本目標に掲げる「あらゆる差別のない地域づくり」に基づき、LGBTQ+の人とその周辺の人がつながれるコミュニティスペース「京都まあるスペース」の開催、自分の性別への違和感や恋愛対象の性別などの悩みについて相談できる「LGBTQ+相談窓口」を開設し、性の多様性への理解促進、啓発活動を実施している。また、LGBTQ+の人たちが、その個性や能力を十分に発揮でき、人生のパートナーと家族として安心して暮らせるよう「パートナーシップ宣誓制度」を実施している。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①LGBTQ+に関連した講座開催	180,000	①年1回
	実績	①LGBTQ+に関連した講座開催	103,879	①年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①LGBTQ+に関連した講座開催②京都まあるスペースの開催 ③LGBTQ+相談窓口の開設	739,000	①年1回②年2回 ③年12回
	実績	①LGBTQ+に関連した講座開催②京都まあるスペースの開催 ③LGBTQ+相談窓口の開設	700,540	①年1回②年2回 ③年12回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	①LGBTQ+に関連した講座開催(スキルアップセミナーと兼ねる)②京都まあるスペースの開催③LGBTQ+相談窓口の開設	958,000	①年2回②年2回 ③年12回
	実績	①LGBTQ+に関連した講座開催(スキルアップセミナーと兼ねる)②京都まあるスペースの開催③LGBTQ+相談窓口の開設	722,935	①年2回②年2回 ③年12回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	①LGBTQ+に関連した講座開催②京都まあるスペースの開催 ③LGBTQ+相談窓口の開設	912,000	①年1回②年2回 ③年12回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①LGBTQ+に関連した講座開催②京都まあるスペースの開催 ③LGBTQ+相談窓口の開設		①年1回②年2回 ③年12回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方		性の多様性について考える啓発事業とセクシュアリティについての相談事業の開催実績を活動指標とする。		

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「LGBTQ+」という言葉の内容まで知っているという人の割合	①80%以上 ②20%以上
R3	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「LGBTQ+」という言葉の内容まで知っているという人の割合	①97% ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R4	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「LGBTQ+」という言葉の内容まで知っているという人の割合	①97% ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R5	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「LGBTQ+」という言葉の内容まで知っているという人の割合	①94% ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R6	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「LGBTQ+」という言葉の内容まで知っているという人の割合	
R7	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「LGBTQ+」という言葉の内容まで知っているという人の割合	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの人にLGBTQ+の人たちのことを認知いただくことが必要であり、また、受講者の当該事業に対する新たな知識の習得がなければならないと考え、市民意識調査結果及びアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	上原 典子			直通	25-5075	内線 2214

①整理番号	章	I	節	2	具体的施策No. 施策名	③11.暴力根絶に向けた環境整備			
②事業No.事業名	14.女性の相談室				事業実施 期 間	R3 ~ R7			
③新規・継続	継続	④事業区分		補助		国補助率	1/2	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に脅威を軽減	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

配偶者等からの暴力の根絶に向け、DV被害者や、あらゆる悩み・問題を抱えた女性に寄り添った支援を行うため、女性のための相談事業を実施している。また、市内外の相談機関を対象とした「女性の相談ネットワーク会議」を開催し、相談機関の連携を強化するとともに、相談員等の資質の向上を図ることで、相談体制を充実させる。

相談事業は、婦人相談員による一般相談と、カウンセラー及び弁護士による専門相談（フェミニストカウンセリング（FC）、法律相談）を実施している。さらに、支援を必要としている人に必要な相談窓口に関する情報を提供し、連携している。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	2,757,000	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
	実績	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	2,968,248	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	3,781,000	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
	実績	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	3,757,290	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	4,177,000	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
	実績	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	4,311,508	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数	4,551,000	①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①一般相談開催日 ②専門相談開催回数		①週5日(週30時間) ②年18回(FC/法律)
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

誰もが安心して相談できる窓口を充実するため、女性の相談室の開催日数等を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①女性の相談室の利用件数 ②「女性の相談室」を知っているという人の割合	①年600件 ②50%
R3	実績	①女性の相談室の利用件数 ②「女性の相談室」を知っているという人の割合	①年1,106件 ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R4	実績	①女性の相談室の利用件数 ②「女性の相談室」を知っているという人の割合	①年901件 ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R5	実績	①女性の相談室の利用件数 ②「女性の相談室」を知っているという人の割合	①年786件 ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	必要としている人に情報を届け、相談に繋がってもらうためには、「女性の相談室」の認知度を向上させることが必要と考える。相談件数の実績と合わせて成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	竹嶋 宣輝		直通	25-5075	内線	2214

①整理番号	章	I	節	2	具体的施策No. 施策名	[3]I 2. ハラスメントの防止		
②事業No.事業名	I 5.男女共同参画講座（ハラスメント防止）の開催				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	継続	④事業区分		補助	国補助率	-	府補助率	I/2
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

セクシュアルハラスメントやマタニティハラスメント、パワー・ハラスメント等のハラスメントは、重大な人権侵害であり、こうしたハラスメントを撲滅することが、人権尊重を進めることになる。ひいては、女性活躍の推進や男女共同参画の推進にもつながるため、市や事業者等、関係機関の学習の場として、男女共同参画講座を開催する。
--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	ハラスメント防止に関する講座の開催	90,000	年I回
	実績	DV防止啓発講座（京都府と共催）（対象者：京都府在住・在勤・在学の人、亀岡市男女共同参画推進員、女性の相談ネットワーク会議構成団体）（令和3年12月3日、受講者数：34人）	31,876	年I回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	ハラスメント防止に関する講座の開催	101,000	年I回
	実績	DV防止啓発講座（対象者：市内在住・在勤・在学の人、亀岡市男女共同参画推進員、女性の相談ネットワーク会議構成団体）（令和4年12月2日、受講者数：35人）	97,634	年I回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	ハラスメント防止に関する講座の開催	108,500	年I回
	実績	DV防止啓発講座（対象者：市内在住・在勤・在学の人、亀岡市男女共同参画推進員、女性の相談ネットワーク会議構成団体）（令和5年11月28日、受講者数：33人）	75,739	年I回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	ハラスメント防止に関する講座の開催	72,300	年I回
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	ハラスメント防止に関する講座の開催		年I回
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	ハラスメントは、重大な人権侵害である。ハラスメントを撲滅し、人権尊重を進めるための周知・啓発事業としての講座開催実績を活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		講座アンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	80%以上
R3	実績	講座アンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	85.3%
R4	実績	講座アンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	78.8%
R5	実績	講座アンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	93.3%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの受講者にハラスメントについての新たな知識の習得がなければならないと考え、アンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	竹嶋 宣輝			25-5075	内線	2214

①整理番号	章	1	節	2	具体的施策No. 施策名	[4]13.「イクボス」に関する啓発活動	
②事業No.事業名	16.イクボス・プロジェクト			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	-	府補助率	1/2
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

地域ぐるみでの子育て支援の一環として女性や子育て世代が働きやすい職場づくりを促進するため、「イクボス」として部下の育児・介護やワークライフバランスに理解のある経営者や上司の育成に取り組みます。模範的な取組となるよう、市長をはじめ亀岡市管理職に「イクボス」の働きかけを行い、市内事業所に取組が広がるよう市内企業・事業所対象の人権研修のテーマに「イクボス」を取り上げ、資料を配布するなどの方法で啓発と情報提供を行います。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①イクボス講座の開催 ②市内事業所への情報提供	90,000	①年1回 ②年1回以上
	実績	①イクボス講座(受講対象者:企業・事業所の管理職、人事・総務担当者、亀岡市の管理職職員)(令和3年10月13日)(受講者数30人) ②商工会議所や人権啓発推進協議会の企業部会にイクボス講座のチラシを配布	103,879	①年1回 ②年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①イクボス講座の開催 ②市内事業所への情報提供	101,000	①年1回 ②年1回以上
	実績	①イクボス講座(受講対象者:企業・事業所の管理職、人事・総務担当者、亀岡市の管理職職員)(令和4年8月30日)(受講者数30人) ②商工会議所や人権啓発推進協議会の企業部会にイクボス講座のチラシを配布	98,153	①年1回 ②年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	①イクボス講座の開催 ②市内事業所への情報提供	108,500	①年1回 ②年1回以上
	実績	①イクボス講座(受講対象者:企業・事業所の管理職、人事・総務担当者、亀岡市の管理職職員)(令和5年8月22日)(受講者数27人) ②商工会議所や人権啓発推進協議会の企業部会にイクボス講座のチラシを配布	71,841	①年1回 ②年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	①イクボス講座の開催 ②市内事業所への情報提供	72,400	①年1回 ②年1回以上
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①イクボス講座の開催 ②市内事業所への情報提供		①年1回 ②年1回以上
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 子育て世代が働きやすい職場づくりの促進と部下の育児・介護やワークライフバランスに理解のある経営者や上司の育成に取組む啓発事業の実績を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「ワークライフバランス」という言葉を内容まで知っているという人の割合	①80%以上 ②30%以上
R3	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「ワークライフバランス」という言葉を内容まで知っているという人の割合	①97% ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R4	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「ワークライフバランス」という言葉を内容まで知っているという人の割合	①100% ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R5	実績	①講座アンケートの「新たな気づきがあった」の割合 ②「ワークライフバランス」という言葉を内容まで知っているという人の割合	①88% ②調査未実施（令和6年度調査予定）
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの人にワークライフバランスを理解していただくことが必要であり、また、受講者の当該事業に対する新たな知識の習得がなければならないと考え、市民意識調査結果及びアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者	竹嶋 宣輝		直通	25-5075	内線	2214

①整理番号	章	Ⅰ	節	2	具体的施策No. 施策名	[4] 4. 「女性活躍推進」に関する啓発活動	
②事業No. 事業名	17. 男女共同参画講座(女性活躍推進)の開催				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	—	府補助率	1/2
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
10 人の国々の平等をなくそう	11 持続可能な都市をつくり出そう	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を増やそう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリシップで 目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

職場や地域で活躍できる人材の育成を図る「エンパワメントセミナー」の開催、ジェンダー平等を達成するため、男女共同参画について基礎から学ぶ「スキルアップセミナー」の開催、地域における男女共同参画の意識啓発を目的に自治会と連携して開催する「ゆう・あい地域講座」を通して市民に学習機会の場を提供する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計 画	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催	226,826	①年1回②年1回 ③年1回
	実 績	①中止②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催	47,740	①年0回②年1回 ③年1回
		達成度		66.7 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		13.3 %
R4	計 画	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催	227,826	①年1回②年1回 ③年1回
	実 績	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催	67,768	①年1回②年1回 ③年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		33.3 %
R5	計 画	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催	127,000	①年1回②年1回 ③年1回
	実 績	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催(LGBTQ+に関連 した講座と兼ねる)③ゆう・あい地域講座の開催	58,586	①年1回②年1回 ③年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		53.3 %
R6	計 画	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催	193,300	①年1回②年1回 ③年1回
	実 績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計 画	①エンパワメントセミナーの開催②スキルアップセミナーの開催 ③ゆう・あい地域講座の開催		①年1回②年1回 ③年1回
	実 績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	ジェンダー平等と男女共同参画社会を実現するため、市民に学習機会の提供として講座を開催することから、開催実績を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①エンパワーメントセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ②スキルアップセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ③ゆう・あい地域講座のアンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	①80%以上 ②80%以上 ③80%以上
R3	実績	①エンパワーメントセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ②スキルアップセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ③ゆう・あい地域講座のアンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	①中止 ②82.4% ③88.5%
R4	実績	①エンパワーメントセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ②スキルアップセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ③ゆう・あい地域講座のアンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	①83.3% ②80.0% ③96.7%
R5	実績	①エンパワーメントセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ②スキルアップセミナーのアンケートの「活かせる内容であった」の割合 ③ゆう・あい地域講座のアンケートの「新たな気づきを得られた」の割合	①88.9% ②94.9% ③86.4%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの受講者にジェンダー平等や男女共同参画について考え行動していただくこと及び気づきがなければならぬと考え、アンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者	乾 彰展		直通	25-6788	内線	2332

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No.(施策名)	①I5. 地域住民へのコミュニティ活動の周知	
②事業No.事業名	I8.自治会活動の住民への周知事業			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独事業	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 持続可能な社会を築く	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

住民ニーズにあったコミュニティ活動を推進するため、自治会役員会での協議をするとともに、市民の自治会加入を促進していきます。コミュニティ活動を広く市民に周知するため、PR活動の充実を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年7回 ②随時
	実績	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年9回 ②随時
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年7回 ②随時
	実績	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年8回 ②随時
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年7回 ②随時
	実績	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年7回 ②随時
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介	0	①年7回 ②随時
	実績	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介		①年7回 ②随時
	実績	①自治会連合会役員会の開催 ②各自治会の活動の紹介		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	毎年度、定期的に行う亀岡市自治会連合会三役会・幹事会の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		自治会加入世帯率の維持	82%
R3	実績	自治会加入世帯率の維持	82%
R4	実績	自治会加入世帯率の維持	80%
R5	実績	自治会加入世帯率の維持	80%
R6	実績	自治会加入世帯率の維持	
R7	実績	自治会加入世帯率の維持	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	住民ニーズにあったコミュニティ活動の推進に関する成果について、重要な指標の一つとしての自治会加入世帯率を、定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	自治会連合会役員会を開催するとともに、開発業者への指導により、自治会未加入者への加入促進と自治会等の自治会加入の取り組みを支援することができました。 また、転入者へ自治会加入を促すチラシの配布や、市役所1階市民情報コーナーに各自治会の広報紙を設置することにより、地域のコミュニティ活動について広く市民に対して周知することができました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者	乾 彰展		直通	25-6788	内線	2332

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No.(施策名)	①16.コミュニティ組織の育成	
②事業No.事業名	19.自治会長への研修実施事業			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独事業	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

各地域での指導者である自治会長が、地域のコミュニティや安全で魅力あるまちづくりの取り組みについての見識をより深めてもらうため、先進地の視察や人権研修の事業を促進します。
--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	各自治会長の研修事業の開催	448,000	年1回
	実績	各自治会長の研修事業の開催	0	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	各自治会長の研修事業の開催	448,000	年1回
	実績	各自治会長の研修事業の開催	0	年1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	各自治会長の研修事業の開催	448,000	年1回
	実績	各自治会長の研修事業の開催	448,000	年2回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	各自治会長の研修事業の開催	448,000	年1回
	実績	各自治会長の研修事業の開催		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	各自治会長の研修事業の開催		年1回
	実績	各自治会長の研修事業の開催		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	毎年度、定期的開催する研修事業の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		各自治会長の研修事業の出席率	100%
R3	実績	各自治会長の研修事業の出席率	100%
R4	実績	各自治会長の研修事業の出席率	100%
R5	実績	各自治会長の研修事業の出席率	96%
R6	実績	各自治会長の研修事業の出席率	
R7	実績	各自治会長の研修事業の出席率	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	各自治会長の研修事業の出席率が重要と考え、出席率を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---------------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	各自治会長に対する研修事業への参加を促進することで、各自治会長のよりよい地域づくりの取組について見識を深めることができました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者	乾 彰展		直通	25-6788	内線	2332

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No.(施策名)	①17.コミュニティ活動拠点施設の整備への支援	
②事業No.事業名	20.生涯学習施設整備支援事業			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独事業	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

地域コミュニティ活動の発展と円滑な運営を図るため、自治会・区が行う集会所や住民の生活を支援する施設などのコミュニティ活動拠点施設の整備に対して支援します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	8,917,000	①年1回 ②随時
	実績	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	7,986,000	①年1回 ②随時
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	4,137,000	①年1回 ②随時
	実績	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	3,986,000	①年1回 ②随時
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	4,856,000	①年1回 ②随時
	実績	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	5,606,000	①年1回 ②随時
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応	13,361,000	①年1回 ②随時
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	①各自治会への事業周知、要望のとりまとめ ②各自治会・区からの相談・説明対応		①年1回 ②随時
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	毎年度、各自治会に対して行っている事業周知及び要望の取りまとめを行っている実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		（成果）指標値
期間を通じた目標	当事業の補助金による建築、購入、改修等の実施件数	年間10件
R3	実績 当事業の補助金による建築、購入、改修等の実施件数	13件
R4	実績 当事業の補助金による建築、購入、改修等の実施件数	16件
R5	実績 当事業の補助金による建築、購入、改修等の実施件数	17件
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには事業実施件数が重要な指標と考え、実施件数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	各自治会の年一回の周知、要望調査だけではなく、年間を通して各自治会・区の施設要望の相談を受け、予算の範囲内において対象とすることで、コミュニティ活動拠点施設の充実を図りました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者	乾 彰展		直通	25-6788	内線	2332

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No.(施策名)	②18.コミュニティの相互連携の促進	
②事業No.事業名	21.市内自治会間の交流促進事業			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独事業	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 持続可能な開発を なくそう	2 飢餓を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
10 人や国の不平等を なくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

共通課題の解決や協働の取り組みによるコミュニティの活性化を図るため、各自治会間の連携・協力や情報交流を促進します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
	実績	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
	実績	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
	実績	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	自治会連合会自治会長会の開催	0	年5回
	実績	自治会連合会自治会長会の開催		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	自治会連合会自治会長会の開催		年5回
	実績	自治会連合会自治会長会の開催		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方
毎年度、定期的開催する亀岡市自治会連合会自治会長会の開催実績を、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		自治会連合会自治会長会の出席率	100%
R3	実績	自治会連合会自治会長会の出席率	100%
R4	実績	自治会連合会自治会長会の出席率	100%
R5	実績	自治会連合会自治会長会の出席率	100%
R6	実績	自治会連合会自治会長会の出席率	
R7	実績	自治会連合会自治会長会の出席率	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	各自治会長の自治会長会への出席率が重要と考え、出席率を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	自治会長会への参加を促進することで、共通課題の解決や協働の取り組みによるコミュニティの活性化を図り、各自治会間の連携・協力や情報交流を促進できました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調査

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者	乾 彰展			直通	内線	2332

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No.(施策名)	②19.コミュニティの相互連携の促進			
②事業No.事業名	22.自治会と行政の連携推進事業				事業実施 期 間	R3		～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独事業		国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を高めよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

自治会との連携を図り地域活動の母体となる住民組織との連携を推進するため、意見交換や連絡調整会議を開催します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	自治委員会議の開催	130,000	年3回
	実績	自治委員会議の開催	112,500	年3回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	自治委員会議の開催	127,000	年3回
	実績	自治委員会議の開催	115,000	年3回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	自治委員会議の開催	127,000	年3回
	実績	自治委員会議の開催	115,000	年3回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	自治委員会議の開催	127,000	年3回
	実績	自治委員会議の開催		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	自治委員会議の開催	127,000	年3回
	実績	自治委員会議の開催		
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	毎年度、定期的に開催する自治委員会議の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	---------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		自治委員会議の出席率	100%
R3	実績	自治委員会議の出席率	100%
R4	実績	自治委員会議の出席率	100%
R5	実績	自治委員会議の出席率	100%
R6	実績	自治委員会議の出席率	
R7	実績	自治委員会議の出席率	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	各自治委員の自治委員会議への出席率が重要と考え、出席率を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	自治委員会議を年3回開催するとともに、各自治会の活動等への市コミュニティ推進員の参加により、自治会と行政の連携を図ることができました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	藤井 那菜			25-5002	内線	2232

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	③20. 市民の理解と支援の促進①		
②事業No.事業名	23. 市民協働に関する情報発信の強化①				事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

市民の市民活動の認知度向上、参画意識の醸成のため、市や市民活動推進センターの情報発信ツールを使い、市内の取り組みについての情報発信を行う。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績	支援金活動事業報告のホームページや貼り出しによる発信	0	年2回
		達成度		40 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		8 %
R4	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績	支援金活動事業報告等の市ホームページや貼り出しによる発信 かめおか市民活動推進センターホームページでの団体紹介	0	年5回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		28 %
R5	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績	支援金活動事業報告等の市ホームページや貼り出しによる発信(4回) かめおか霧の芸術祭と協力して、市民活動紹介の冊子を作成・配布 かめおか霧の芸術祭のマルシェに市民活動団体の協力を得て出展 市民活動推進フォーラムにおいてステージ発表及び活動紹介展示による発信	0	年7回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		48 %
R6	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	市のホームページ等における具体的な市民活動の取り組み事例の発信回数を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を活用する立ち上げ2年以内の団体数	5団体以上
R3	実績	亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を活用する立ち上げ2年以内の団体数	4団体
R4	実績	亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を活用する立ち上げ2年以内の団体数	4団体
R5	実績	亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を活用する立ち上げ3年以内の団体数	5団体
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	情報発信による市民活動の認知度向上や参画意識の醸成の結果として、新たに立ち上がった団体が支援金を活用する件数を成果目標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		藤井 那菜	直通	25-5002	内線	2232

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	③20. 市民の理解と支援の促進②	
②事業No.事業名	24. 市民活動への寄付を受け入れる基金の運用 ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の創設				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

市民活動を資金面で支えるため、また団体による資金集めのPR活動により活動の周知を図るため、亀岡NAWASHIRO基金の市民による運営及びふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の創設を行う。市民による団体への寄附という形での市民活動への参画を推進する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の創設	0	①年5回 ②まちづくり協働推進委員会委員会での検討1回
	実績	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の創設	0	①年8回 ②まちづくり協働推進委員会委員会での検討1回
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の創設	15,000	①年5回 ②活用団体5団体
	実績	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の実施	63,200	①年6回 ②活用団体6団体
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の実施	855,000	①年5回 ②活用団体5団体
	実績	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の実施	815,600	①年6回 ②活用団体7団体
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の実施	2,000,000	①年5回 ②活用団体5団体
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R7	計画	①亀岡NAWASHIRO基金の運用 運営会議の実施 ②ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の実施	2,000,000	①年5回 ②活用団体5団体
	実績			
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方 亀岡NAWASHIRO基金の市民による効果的な運営のために年5回の運営会議の実施を指標とする。
ふるさと納税を活用した市民活動への寄附募集事業の創設に向けて令和3年度はまちづくり委員会での検討を行い、令和4年度以降は制度を活用する団体5団体を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		（成果）指標値
期間を通じた目標		①年5団体 ②100% （全寄附募集团体が事業を実施）
R3	実績	①亀岡NAWAHIRO基金の共感者集めプログラム他支援制度の活用団体 ②ふるさと納税を活用した寄附募集事業の実施率
R4	実績	①亀岡NAWAHIRO基金の共感者集めプログラム他支援制度の活用団体 ②ふるさと納税を活用した寄附募集事業の実施率
R5	実績	①亀岡NAWASHIRO基金の共感者集めプログラム他支援制度の活用団体 ②ふるさと納税を活用した寄附募集事業の実施率
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	亀岡NAWASHIRO基金の効果的な運営により、支援する団体数を成果目標とし、ふるさと納税を活用した寄附募集事業については制度の認知度を高め団体の寄附目標額に対する実績割合を高め、事業実施数を指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	（R4）成果指標について、寄附実績ではなく事業実施を成果指標としていたため、修正
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		藤井 那菜	直通	25-5002	内線	2232

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	③21. 市民協働活動の支援	
②事業No.事業名	25. かめおか市民活動推進センターの運用				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 家族を なくそう	2 飢餓を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくも責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリシップで 目標を達成しよう	○

⑦事業の概要及び目的

市民活動団体の立ち上げや運営、市民や企業の市民活動への参画に関する相談に対する対応やマッチングを行うため、市民活動推進センターの機能強化と充実を図る。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計 画	かめおか市民活動推進センターの運営	2,056,700	①講座の開催 年3回 ②相談件数 12件
	実 績	かめおか市民活動推進センターの運営	2,056,700	①講座の開催 年2回 ②相談件数 32件
		達成度		83 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		16.6 %
R4	計 画	かめおか市民活動推進センターの運営 他市中間支援組織に関する情報収集	2,056,700	①講座の開催年3回 ②相談件数12件③協議1回
	実 績	かめおか市民活動推進センターの運営 他市中間支援組織に関する情報収集	2,056,700	①講座の開催年3回 ②相談件数19件③協議2回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		36.6 %
R5	計 画	かめおか市民活動推進センターの運営 かめおか市民活動推進センターの機能強化に向けた協議	2,056,700	①講座の開催年3回 ②相談件数12件③協議1回
	実 績	かめおか市民活動推進センターの運営 かめおか市民活動推進センターの機能強化に向けた協議	2,057,000	①講座の開催年1回 ②相談件数20件③協議1回
		達成度		77 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		52 %
R6	計 画	かめおか市民活動推進センターの運営 かめおか市民活動推進センターの機能強化に向けた協議	2,057,000	①講座の開催年3回 ②相談件数12件③協議1回
	実 績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計 画	かめおか市民活動推進センターの運営 かめおか市民活動推進センターの機能強化に向けた協議	2,057,000	①講座の開催年3回 ②相談件数12件③協議1回
	実 績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	かめおか市民活動推進センターが目的を果たすために必要な活動として、市民活動に関する講座の開催回数と、市民活動に関する相談件数を指標とする。また令和4年度以降、機能強化に向けた協議を年1回行う。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		①新規登録団体 ②マッチング件数	①年3団体 ②年2件
R3	実績	①新規登録団体 ②マッチング件数	①年2団体 ②年0件
R4	実績	①新規登録団体 ②マッチング件数	①年4団体 ②年1件
R5	実績	①新規登録団体 ②マッチング件数	①年4団体 ②年2件
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	かめおか市民活動推進センターの運営・機能強化により、新たに登録を希望する団体数、マッチング件数によりその成果を測る。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		藤井 那菜	直通	25-5002	内線	2232

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	③22. 協働による地域課題の掘り起こし	
②事業No.事業名	26. まちづくりに関する市民参加事業の実施				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任 消費の責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

市民の自主的な活動への参画を促すため、市民活動について知ったり考えたりできる機会としてのワークショップ等を実施する。
--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	0	年1回
	実績	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	30,000	年1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	96,000	年1回
	実績	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	30,000	年2回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	100,000	年1回
	実績	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	0	年2回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	100,000	年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	市民活動について知り、考えるワークショップ等の開催	100,000	年1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	市民活動を知ったり、考えたりする事業を様々な切り口で年に1回開催する。
------------------------	-------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		事業への参加者数 参加者満足度	20人 90%
R3	実績	事業への参加者数 参加者満足度	26人 100%
R4	実績	事業への参加者数 参加者満足度	58人 90%
R5	実績	事業への参加者数（城址マルシェ（全体）1,500人、市民活動推進フォーラムステージ発表100人、講演会40人） 参加者満足度（市民活動推進フォーラム講演会）	1,640人 95%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	参加者同士が十分交流できる人数として、20人の参加を成果目標とし、参加者のアンケート等による満足度は90%を目指す。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者	藤井 那菜		直通	25-5002	内線	2232

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	③23. 団体間の相互理解促進と連携				
②事業No. 事業名	27. 市民協働に関する情報発信の強化②					事業実施 期 間	R3		～	R7
③新規・継続	継続		④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースHIPで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

市民活動団体やコミュニティ組織、企業、行政など各種団体がお互いの活動や役割について知ったり、交流するきっかけを作るために市や市民活動推進センターの情報発信ツールを使い、取り組みについての情報発信を行う。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績	令和2年度に支援金を活用して実施した事業の取り組みの発信	0	年1回
		達成度		20 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		4 %
R4	計画	各種団体の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績	令和3年度に支援金を活用して実施した事業の取り組みの発信1回 市民活動推進センター登録団体の活動内容の発信1回 市民活動推進センター登録団体への各種情報(メルマガ)の発信6回	0	年8回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		24 %
R5	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績	市民活動推進センター登録団体への各種情報(メルマガ)の発信47回	0	年47回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	市民活動の取り組み事例の発信	0	年5回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	市のホームページ等における具体的な市民活動の取り組み事例の発信回数を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		団体連携した取り組みの情報発信	年1件
R3	実績	亀岡市支えあいまちづくり協働支援金において市民連携事業に申請のあった取り組みの実績の情報発信	年1件
R4	実績	亀岡市支えあいまちづくり協働支援金において市民連携事業に申請のあった取り組みの実績の情報発信	年1件
R5	実績	亀岡市支えあいまちづくり協働支援金において市民連携事業に申請のあった取り組みの実績の情報発信	年1件
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	各種団体の取り組みや連携事例について情報収集し、その内容を発信する。それにより更なる団体間連携を促す。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	(R4)市民活動団体間の連携促進という狭義的な連携になっていたため変更
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	SDGs創生課	係	定住・SDGs推進係
担当者		橋本 広明	直通	0771(56)8520	内線	2975

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	④24.移住相談・情報発信の強化	
②事業No.事業名	28.移住相談窓口及びHPやSNS等を通じた広報活動の充 実事業			事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に 適応する	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 適応する	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリシップで 目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

移住者や定住者を増やすための玄関口となる移住相談窓口を開設するとともに、相談体制や機会の充実を図る。また、HPや各種SNS等を通じた広報活動を充実させる。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動	38,357,000	相談数 100件
	実績	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動	56,546,000	相談数 239件
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動	39,021,000	相談数 120件
	実績	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動	36,202,880	相談数 272件
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動	42,313,000	相談数 140件
	実績	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動	44,125,550	相談数 207件
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動		相談数 160件
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	移住相談の実施及びSNS等を活用した広報活動		相談数 180件
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方 移住相談については、SDGs創生課を窓口として通年開設しており、受けた相談件数及び内容はデータベースで管理しているため、その相談件数を定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		移住者の獲得組数	40組
R3	実績	移住者の獲得組数	22組
R4	実績	移住者の獲得組数	26組
R5	実績	移住者の獲得組数	21組
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当事業の目的は本市への移住者を増やしていくことであるため、移住者の獲得組数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R5) 移住定住推進官として1名配属されたことにより、移住相談や空家相談など、昨年度よりもきめ細やかな対応をすることができた。 (R3) 窓口及び電話での対応時には親切丁寧を心掛け、様々な要望や問い合わせに対応できるための知識の習得に励んだ。また、移住に関連する「職」や「農地確保」などにも関係課と連携を密にして対応した。
進行上の課題や問題点	(R3) 移住・定住担当職員が2名であるため、全ての要望に対してきめ細やかな対応ができない部分があった。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	まちづくり推進部	課	建築住宅課	係	空家対策係
担当者		剛谷 将伍	直通	0771(56)8520	内線	3397

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	㊦25.地域受入体制の強化				
②事業No.事業名		29. 移住促進特別区域を中心とした空き家利活用の推進及び移住希望者の案内強化事業				事業実施 期 間	R3		～	R7
③新規・継続		継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)										

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

移住促進特別区域の自治会や京の田舎ぐらしナビゲーターと連携し、移住者や定住者を増やすため空き家利活用にかかる情報の共有や、移住希望者の積極的な案内を実施する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	38,357,000	案内数 10組
	実績	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	56,546,000	案内数 8組
		達成度		80 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		16 %
R4	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	39,021,000	案内数 10組
	実績	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	36,202,880	案内数 15組
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		36 %
R5	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	42,313,000	案内数 10組
	実績	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	38,115,150	案内数 10組
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		56 %
R6	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	36,473,000	案内数 10組
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数		案内数 10組
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

本市への移住希望者から要望があれば、移住促進特別区域を中心とした市内の案内を実施しており、案内した件数及び内容はデータベースで管理しているため、案内件数を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		移住促進特別区域の移住者獲得組数	20組
R3	実績	移住促進特別区域の移住者獲得組数	12組
R4	実績	移住促進特別区域の移住者獲得組数	15組
R5	実績	移住促進特別区域の移住者獲得組数	10組
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当事業の目的は移住促進特別区域への移住者を増やしていくことであるため、移住促進特別区域の移住者獲得組数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	（R3）移住促進特別区域の自治会や京の田舎ぐらしナビゲーター等と連携することで、移住希望者に対する市内案内の充実を図った。
進行上の課題や問題点	（R3）移住・定住担当職員が2名であるため、全ての要望に対してきめ細やかな対応ができない部分があった。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	まちづくり推進部	課	都市計画課	係	開発許可係
担当者		山田 敏樹	直通	25-5047	内線	3316

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	④26. 集落における活力・コミュニティの維持・活性化	
②事業No.事業名	30. 本市の市街化調整区域の実情に応じた都市計画法に基づく開発許可制度の運用				事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

人口減少や少子高齢化が進行し、地域活力の低下や地域コミュニティの衰退が懸念される市街化調整区域内の集落地において、地域への移住・定住促進に向けた取り組みを支援するため、地域の意向に応じて既存集落まちづくり区域指定制度を活用するなど、本市の市街化調整区域の実情に応じた開発許可制度の運用を図る。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	既存集落まちづくり区域の指定に向けた勉強会の開催	0	2町
	実績	曾我部町及び旭町で勉強会等を開催し、地域案を作成	0	2町
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	既存集落まちづくり区域の指定に向けた勉強会の開催	0	1町
	実績	曾我部町、旭町及び千代川町で勉強会等を開催 うち曾我部町及び旭町の区域指定(R4.6.30)	0	3町
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	既存集落まちづくり区域の指定に向けた勉強会の開催	0	1町
	実績	千代川町で勉強会等を開催 千代川町の区域指定(R6.3.29)	0	1町
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	既存集落まちづくり区域の指定に向けた勉強会の開催		1町
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	既存集落まちづくり区域の見直しに係る地域住民との調整(亀岡農業振興地域整備計画の変更(第9回特別管理)への対応)		対象地区全て
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	地域住民の意向に応じた開発許可制度の運用が可能となる地域の拡大を図るため、既存集落まちづくり区域指定制度の活用に向けた地域住民を対象とした勉強会の開催実績を活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数	5件以上
R3	実績	既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数	6件
R4	実績	既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数	8件
R5	実績	既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数	10件
R6	実績	既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数	
R7	実績	既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	地域活力や地域コミュニティの維持・向上に向けた地域住民の取り組みを支援する施策の一つであり、地域住民で地域案を作成いただき区域指定を行う既存集落まちづくり区域指定制度を適用した許可件数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 本市ホームページや広報紙、窓口相談を通じて制度周知を図るとともに、パンフレットを適宜更新などの情報発信に取り組んだ。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	SDGs創生課	係	定住・SDGs推進係
担当者		橋本 広明	直通	0771(56)8520	内線	2975

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	④27.移住・定住お試し機会の充実			
②事業No.事業名	31.移住・定住促進施設の活用事業				事業実施 期 間	R3		～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分		単独	国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

								
								

⑦事業の概要及び目的

古民家をリノベーションした移住・定住促進施設「離れ」にのうみを活用し、特に古民家暮らしを希望する移住検討者に対し、古民家暮らしの試行機会を提供し、本市への移住促進を図る。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	移住・定住促進施設の運用	4,445,000	稼働日数 365日
	実績	移住・定住促進施設の運用 ※新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の影響により、臨時休館した	5,717,000	稼働日数 311日
		達成度		85 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		17 %
R4	計画	移住・定住促進施設の運用	2,890,000	稼働日数 365日
	実績	移住・定住促進施設の運用	2,570,393	稼働日数 342日
		達成度		93 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		35 %
R5	計画	移住・定住促進施設の運用	730,000	稼働日数 365日
	実績	移住・定住促進施設の運用	412,500	稼働日数 340日
		達成度		93 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		54 %
R6	計画	移住・定住促進施設の運用		稼働日数 365日
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	移住・定住促進施設の運用		稼働日数 365日
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方 安定した施設運用を行うことで、移住検討者の様々なライフスタイルに対応した古民家暮らしの試行機会を提供するため、稼働日数を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		客室稼働率	各年客室稼働率 30%
R3	実績	客室稼働率 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響あり	客室稼働率 20.2%
R4	実績	客室稼働率	客室稼働率 31.4%
R5	実績	客室稼働率	客室稼働率 24.2%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当事業の目的は、移住・定住促進施設を活用し、移住検討者への古民家暮らしの試行機会を提供することで、本市への移住促進を図ることから、当施設の稼働率を成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R5) 効率的な施設運営を行うため、令和6年度から引き続き指定管理者制度による運営を実施している。 (R3) 運用にあたっては、クレジットカード決済の導入等を行ったほか、WEBサイト及びオンラインでの宿泊予約サイトを通じての予約を行うなど、利用者の利便性を高める取り組みを実施した。 効率的な施設運営を行うため令和元年度に指定管理者の選定を行い、令和2年度から指定管理者制度による運営を実施している。
進行上の課題や問題点	(R5) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより利用者が増えると想定されたが、全国旅行支援（クーポン等）が全国的に縮小されたこと、また、令和5年は全国的に高温となり、特に7月後半からは記録的な高温となったことによりから利用客が減少した。 (R4) 新型コロナウイルス感染症の対策として全国旅行支援（クーポン等）が実施されているが、今後、支援制度が終了するに伴い旅行者の動向に注視している。 (R3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数が減少した。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	SDGs創生課	係	定住・SDGs推進係
担当者		辻 慎太郎	直通	0771(56)8520	内線	2975

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	㊦28.移住者の生活安定の支援		
②事業No.事業名	32.SDGs未来都市亀岡を切り口とした関係人口の創出事業				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

								
								

⑦事業の概要及び目的

UIターンや育児しやすい地域へ移住するCターンなどの移住希望者に対して、移住前に必要とする情報や移住の決め手となる本市の魅力等をホームページに集約し、広告媒体等を活用して市外に向けて効果的に発信します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	かめおかブランド戦略会議の開催	38,357,000	年10回
	実績	かめおかブランド戦略会議の開催	56,546,000	年10回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	移住希望者向けプロモーション	39,021,000	5回(累計)
	実績	移住希望者向けプロモーション	36,202,880	5回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	移住希望者向けプロモーション	42,313,000	10回(累計)
	実績	移住希望者向けプロモーション	44,125,550	4回
		達成度		80 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		90 %
R6	計画	移住希望者向けプロモーション		15回(累計)
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	移住希望者向けプロモーション		20回(累計)
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

令和3年度は子育て世帯の移住促進を目的に、かめおかブランド戦略会議において本市のブランドコンセプトを検討するため、会議の開催回数を定量的な活動指標とします。令和4年度以降は、複数の広告媒体等を活用してPRしホームページへ誘導するため、プロモーションした回数を活動指標とします。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		移住希望者向け特設ホームページへのアクセス件数 京都・亀岡で子育て移住 ～愛せる町で、育てたい。～ https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/iju/	39,000件（累計）
R3	実績	初年度は戦略構築のための会議を実施したため、全体のアウトカム指標には該当しない。	-
R4	実績	移住希望者向け特設ホームページへのアクセス件数	7,855件
R5	実績	移住希望者向け特設ホームページへのアクセス件数	48,162件
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組みの目的が達成されるためには、より多くの移住希望者に本市への移住に関する情報を効果的に発信する必要があります。移住希望者が必要とする情報や本市のウリとなる要素を集約したホームページを検索していただくことが移住の第一段階となることから、ホームページへのアクセス件数を成果指標とします。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R5) 令和4年度に引き続き、広報プロモーション課と連携しデジタル広告やJR広告を実施し、移住希望者向け特設ホームページへ誘導しました。また、首都圏において実施されたエコプロやオーガニックライフスタイルEXPOへ出展し、広くPRしました。 (R4) ターゲットを亀岡市近隣の子育て世帯に絞ってプロモーションを実施しました。広報プロモーション課と連携し、京都駅における屋外広告（デジタルサイネージ・JR車体広告）やデジタル広告（亀岡市から100km圏内の25歳～44歳）を実施し、移住希望者向け特設ホームページへ誘導しました。 (R3) より精度の高いブランドコンセプトを構築するため、SWOT分析やペルソナ作成、先進自治体等の研究を行いました。特にターゲットを明確にするためのペルソナ作成は重要であることから、WSの開催や子育て世帯へのヒアリングを実施しました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	SDGs創生課	係	定住・SDGs推進係
担当者		橋本 広明	直通	0771(56)8520	内線	2975

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	㊦29.移住における安心の支援		
②事業No.事業名	33.移住セミナー等の実施事業				事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

								
								

⑦事業の概要及び目的

京都府や近隣市町等と連携し、移住者や定住者を増やすための移住セミナー等を実施する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	移住セミナー等の実施回数	38,357,000	セミナー等実施回数 10回
	実績	移住セミナー等の実施回数	56,546,000	セミナー等実施回数 10回
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	移住セミナー等の実施回数	39,021,000	セミナー実施回数 10回
	実績	移住セミナー等の実施回数	36,202,880	セミナー実施回数 5回
		達成度		50 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		30 %
R5	計画	移住セミナー等の実施回数	42,313,000	セミナー実施回数 10回
	実績	移住セミナー等の実施回数	44,125,550	セミナー実施回数 3回
		達成度		30 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	移住セミナー等の実施回数		セミナー実施回数 10回
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	移住セミナー等の実施回数		セミナー実施回数 10回
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方 毎年度、京都府南丹広域振興局、南丹市、京丹波町と連携し移住セミナー等を複数回実施しており、本市単体で実施している移住セミナーと合わせた実施回数を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		移住者の獲得組数	40組
R3	実績	移住者の獲得組数	22組
R4	実績	移住者の獲得組数	26組
R5	実績	移住者の獲得組数	21組
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当事業の目的は本市への移住者を増やしていくことであるため、移住者の獲得組数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)京都府南丹広域振興局、南丹市、京丹波町との協働により「京都丹波」地域をPRする移住セミナーをオンライン形式で実施し、移住希望者への相談対応をした。 また、大阪や京都で開催された各種移住フェア等にも積極的にブース出展し、移住相談に対応したほか、空き家バンク登録物件の掘り起こしの強化により、移住者獲得に結び付けることができた。
進行上の課題や問題点	(R3)移住・定住担当職員が2名であるため、全ての要望に対してきめ細やかな対応ができない部分があった。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	SDGs創生課	係	定住・SDGs推進係
担当者		辻 慎太郎	直通	0771(56)8520	内線	2975

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	⑤30.テレワーク環境充実への支援			
②事業No.事業名	34.「選ばれるまち」となるためのレジリエンスな働き方へのアプローチ				事業実施 期 間	R3 ~ R7			
③新規・継続	継続	④事業区分	単独事業		国補助率		府補助率		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

新型コロナウイルスの影響や共働き夫婦の増加等による人々の生活様式の変化等を背景に、テレワーク勤務など柔軟な働き方へのニーズが高まっており、こうした市民の働き方の選択肢を増やすことを目的として、セミナー等を実施します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	在宅ワークやワーケーション等のニーズ調査および近郊自治体の転出入者実態調査	38,357,000	15回
	実績	在宅ワークやワーケーション等のニーズ調査および近郊自治体の転出入者実態調査	56,546,000	17回
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	在宅ワーク推進事業等の実施	39,021,000	セミナー等開催数 年6回
	実績	在宅ワーク推進事業等の実施	36,202,880	セミナー等開催数 年6回
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	若者の仕事場づくり支援事業等の実施	42,313,000	セミナー等開催数 年6回
	実績	若者の仕事場づくり支援事業等の実施	44,125,550	セミナー等開催数 年7回
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	若者の仕事場づくり支援事業等の実施		セミナー等開催数 年6回
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	若者の仕事場づくり支援事業等の実施		セミナー等開催数 年6回
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方
今年度実施予定の「若者の仕事場づくり支援事業」においてセミナー等を実施する予定であり、セミナー等の開催回数を定量的な活動指標とします。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		若者の仕事場づくり支援事業等への参加者数	240人
R3	実績	初年度はニーズ調査を実施したため、全体のアウトカム指標には該当しない。	-
R4	実績	在宅ワーク推進事業等への参加者数	120人
R5	実績	若者の仕事場づくり支援事業等への参加者数	54人
R6	実績	若者の仕事場づくり支援事業等への参加者数	
R7	実績	若者の仕事場づくり支援事業等への参加者数	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの企業や市民に若者の仕事場づくり支援事業等へ参加いただくことが必要であり、参加者数を定量的な成果指標とします。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R5)働き方改革をテーマとしたセミナーや、子育て中の人にやさしい職場づくりを目指したカードゲームを実施し、多くの市内事業者に参加していただきました。また、令和4年度に引き続き、子育てに優しい職場づくりをしている地元企業を取材し、働きやすさのポイントなどを記事にまとめて広く情報発信しました。 (R4)働きやすい職場をテーマにしたセミナーを開催し、地元企業に勤める方に参加いただきました。セミナーでは講師に登壇いただくとともに、働きやすい職場づくりを実践している地元企業の代表者に事例紹介をしていただくなど、情報共有の場を設けました。また、子育てに優しい職場づくりをしている地元企業に取材をし、働きやすさのポイントなどを記事にまとめて広く情報発信しました。 (R3)R3年度は共働きの子育て世帯に対しヒアリング調査を実施した。求められているサポートや理想とするワークライフバランスのあり方について一人当たり約90分程度かけて聞き取りをしました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	(R4)新型コロナウイルスに対する考え方がWithコロナへと移行したことにより、人々の働き方も変化が生じていることを受けて、当該事業内容を一部見直しました。当時は在宅ワークの需要が高まっていましたが、現在は在宅ワークに限らず、職場ごとに合った柔軟な働き方が求められているため、そうしたニーズに対応できる職場づくりを支援するため、「若者の仕事場づくり支援事業」を実施いたします。
その他	



第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	秘書課	係	国際係
担当者	服部 あすか	直通	25-5083	内線	2916	

①整理番号	章	I	節	4	具体的施策No. 施策名	㊦ 31. 国際交流・理解の推進	
②事業No.事業名	35.国際交流事業				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

市民レベルの交流を図るため、市民参加による訪問団の派遣や招致、市民団体等による交流など公民連携による姉妹都市等との交流を推進します。異文化を体験・体感する機会を通じて国際感覚を養うため、国際意識を育む事業の推進や教育プログラム、留学生との交流事業を促進します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	2,857,000	事業実施回数 年10回
	実績	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	2,522,099	事業実施回数 年9回
	達成度			90 %
	達成度 (R3年度～R7年度累積)			18 %
R4	計画	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	2,889,000	事業実施回数 年10回
	実績	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	2,867,720	事業実施回数 年12回
	達成度			100 %
	達成度 (R3年度～R7年度累積)			42 %
R5	計画	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	3,003,000	事業実施回数 年10回
	実績	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	2,679,000	事業実施回数 年9回
	達成度			90 %
	達成度 (R3年度～R7年度累積)			60 %
R6	計画	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携	3,414,360	事業実施回数 年10回
	実績			
	達成度			%
	達成度 (R3年度～R7年度累積)			%
R7	計画	・国際文化交流事業、姉妹都市等交流事業等の実施 ・国際交流員の配置 ・亀岡国際交流協会との連携		事業実施回数 年10回
	実績			
	達成度			%
	達成度 (R3年度～R7年度累積)			%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	市民レベルで身近に異文化を体験・体感することができる国際交流・多文化共生のイベントの開催実績を当該事業に最も即していると考え、成果指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		国際交流事業、姉妹都市等交流事業の参加者数	年300人
R3	実績	国際交流事業、姉妹都市等交流事業の参加者数	年196人
R4	実績	国際交流事業、姉妹都市等交流事業の参加者数	年393人
R5	実績	国際交流事業、姉妹都市等交流事業の参加者数	年262人
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的を達成するためには、より多くの人に国際交流・多文化共生関連のイベントに参加してもらうことが必要であると考え、定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	市長公室	課	秘書課	係	国際係
担当者	服部 あすか	直通	25-5083	内線	2916	

①整理番号	章	Ⅰ	節	4	具体的施策No. 施策名	② 43.在住外国人にも過ごしやすいまちづくり
②事業No.事業名	36.多文化共生推進事業				事業実施期間	R3 ~ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	一部50%	府補助率 -
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)						

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

在住外国人等にとっても暮らしやすいまちづくりを推進するため、英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や外国人住民に向けて日本語学習の機会の提供を促進します。
在住外国人等の生活支援を行うため、相談窓口体制の充実を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・外国住民等の防災研修会の開催	6,923,000	相談窓口の開設日数 347日/年
	実績	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・外国住民等の防災研修会の実施	6,344,721	相談窓口開設日数 347日/年
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・職員向けやさしい日本語研修会の開催	6,761,000	相談窓口の開設日数 347日/年
	実績	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・職員向けやさしい日本語研修会の開催 ・外国人住民支援クーポン事業の実施	8,585,036	相談窓口の開設日数 347日/年
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・職員向けやさしい日本語研修会の開催	6,762,000	相談窓口の開設日数 347日/年
	実績	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・職員向けやさしい日本語研修会の開催	6,761,000	相談窓口の開設日数 347日/年
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実 ・職員向けやさしい日本語研修会の開催	6,785,500	相談窓口の開設日数 347日/年
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	・英語及びやさしい日本語等による生活情報の発信や日本語学習の機会提供の促進 ・生活相談窓口体制の充実		相談窓口の開設日数 347日/年
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方 生活相談窓口が1年間のうち95%以上開設していることの実績があることで、在住外国人の方々の生活支援を十分に行えると考え、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		外国人等生活相談窓口での相談解決（適切な機関へつなぐことを含む）	100%
R3	実績	外国人等生活相談窓口での相談解決率（適切な機関へつなぐことを含む）	100%
R4	実績	外国人等生活相談窓口での相談解決率（適切な機関へつなぐことを含む）	100%
R5	実績	外国人等生活相談窓口での相談解決率（適切な機関へつなぐことを含む）	100%
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的を達成するためには、亀岡市と関係機関が十分に連携していく必要があり、かつ、問題解決率100%を維持することで、在住外国人の方々が気兼ねなく、相談に来れる環境づくりを円滑に進められると考え、成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者	田中 清貴		直通	25-6786	内線	3732

①整理番号	章	4	節	4	具体的施策No. 施策名	②33. 外国人児童生徒への学習支援の推進	
②事業No.事業名	37. 159.外国人児童生徒教育支援員の配置				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

外国にルーツのある児童生徒への言葉の支援を行うことで、学校での学びを保障する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	外国人児童生徒教育支援員の配置	806,600	3人
	実績	外国人児童生徒教育支援員の配置	1,579,410	5人
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	外国人児童生徒教育支援員の配置	2,016,500	5人
	実績	外国人児童生徒教育支援員の配置	1,385,390	3人
		達成度		60 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		32 %
R5	計画	外国人児童生徒教育支援員の配置	2,062,750	5人
	実績	外国人児童生徒教育支援員の配置	2,850,257	4人
		達成度		80 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		48 %
R6	計画	外国人児童生徒教育支援員の配置	2,062,750	5人
	実績	外国人児童生徒教育支援員の配置		
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	外国人児童生徒教育支援員の配置	2,062,750	5人
	実績	外国人児童生徒教育支援員の配置		
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	支援を必要としている児童生徒への配置人数を、定量的な活動指標とする。
------------------------	------------------------------------

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		支援員による指導の結果、学校での学びに言語面での支障が無くなった児童生徒数	1人以上
R3	実績	支援員による指導の結果、学校での学びに言語面での支障が無くなった児童生徒数	0人
R4	実績	支援員による指導の結果、学校での学びに言語面での支障が無くなった児童生徒数	0人
R5	実績	支援員による指導の結果、学校での学びに言語面での支障が無くなった児童生徒数	0人
R6	実績	支援員による指導の結果、学校での学びに言語面での支障が無くなった児童生徒数	
R7	実績	支援員による指導の結果、学校での学びに言語面での支障が無くなった児童生徒数	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	支援が必要な児童生徒が新規に増加することを考慮しつつ、既存の児童生徒への支援の結果、支援が必要でなくなるに至ることを目指し、支援員の配置人数について、毎年度同数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者	菱田 恭兵		直通	0771-55-9560	内線	2336

①整理番号	章	2	節	1	具体的施策No. 施策名	□1. セーフコミュニティ推進の仕組みづくり	
②事業No.事業名	38.セーフコミュニティ推進事業			事業実施 期 間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

亀岡市セーフコミュニティ推進協議会を中心として、ネットワークの連携・強化を通じた安全・安心なまちづくりを推進するとともに、広報紙や市ホームページ・公式SNS掲載などによる広報活動、セーフコミュニティに関するシンポジウム、研修会を開催するほか、市民参加型の取組推進による市民のオーナーシップ向上を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	セーフコミュニティ推進協議会の開催	170,000	2回
	実績	セーフコミュニティ推進協議会の開催	60,000	2回(内、1回は書面会議)
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	セーフコミュニティ推進協議会の開催	254,000	2回
	実績	セーフコミュニティ推進協議会の開催	155,520	2回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	セーフコミュニティ推進協議会の開催	256,000	2回
	実績	セーフコミュニティ推進協議会の開催	185,600	2回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	セーフコミュニティ推進協議会の開催	256,000	2回
	実績	セーフコミュニティ推進協議会の開催		
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	セーフコミュニティ推進協議会の開催		2回
	実績	セーフコミュニティ推進協議会の開催		
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	市・府・警察・消防・保健所などの行政のほか、自治会、福祉、医療、教育等々、様々な分野から39人の委員で構成する推進協議会が取組の方針を決める羅針盤となっており、セーフコミュニティ活動に不可欠な協議会であるため活動指標とした。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		救急搬送件数（重傷外傷分）の減少	150件以下／年
R3	実績	救急搬送件数（重傷外傷分）	124件／年
R4	実績	救急搬送件数（重傷外傷分）	121件／年
R5	実績	救急搬送件数（重傷外傷分）	113件／年
R6	実績	救急搬送件数（重傷外傷分）	
R7	実績	救急搬送件数（重傷外傷分）	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	事故やケガによる救急搬送件数の減少を、安心・安全なまちであることの成果指標とした。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	